

## 講演会・研修会・イベント等の開催判断における主催者チェックリスト（一例）

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)において、Go To キャンペーンでの飲食店や観光地・宿泊施設への来客・キャンペーン利用者の殺到もあり、日本国内で感染拡大の第3波が到来している旨の報道が目につきます。

また、EU等での再ロックダウン実施の一方で、国内外での出入国の規制緩和が始動し始めており、国内の病床稼働率が逼迫し始めてきている状況も相まって、社会的に感染症対策と経済的対策の良きバランスが求められています。

そのような中、講演会・研修会・各種イベント等において、実際に会場等に集まって実施するか、あるいは、オンラインLIVE開催・動画配信・オンラインサロン等での開催にするか、やむなく中止・延期等を行うか等について、主催者各位が判断で悩まれるケースも少なからずあるものと思われまます。

そこで、本チェックリストが、責任ある主催者(あるいはその委託者・仲介者・関係者等)として、開催判断で留意しておくべき点につき参考(一例)になるようまとめてみました。

リスクはゼロにはしきれず、一方で、リスクをとって(リスクテイクして)でも進めるべきこともあり得る中で、お悩み解消に多少なりとも役立てば幸いです。

「そもそも感染しにくい」開催・運営形態としての、オンライン開催やオンライン開催ゆえに必要な配信機器・リスク管理策で気を付けて頂きたい点・オンライン開催だからこそのメリット等や、実際の生配信を収録した動画一例(公開可能なもの)等につきまは、下記の弊社ウェブサイトをご参照下さいませ。

- ・弊社「東京Yスタジオ」での対応：<https://www.jmri.co.jp/webinarpromotion.html>

✓	チェック項目等
	<p><b>【COVID-19の現状把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・欧米での第2波・第3波の感染拡大が顕著で一部の国では再ロックダウン実施の動向</li><li>・非常に嚴重な感染対策のはずの現・米国大統領本人やホワイトハウスですら感染発生</li><li>・沖縄での議員視察における感染クラスター発生で、感染した全議員の氏名が全国ニュースで報道される</li><li>・東京で感染対策によらず感染させた結果による違法性を問う条例制定の動きも生じる</li><li>・国の専門家分科会にて年末年始の帰省分散や年始を遅らせる等に関する提言など</li><li>・Go To トラベル利用の北海道ツアー客などの感染クラスター発生と全国ニュースでの報道</li><li>・COVID-19 予防接種ワクチンが令和3年(2021年)3月か4月くらいまでは間に合わなさそうな状況</li><li>・ICT化の遅れが目立つ地方自治体でも、戸村が毎年お伺いしている某市での1日間の役員研修は、本年度は某市としては史上初となる全面的な動画収録・配信(YouTubeの限定公開)で開催(録画・配信などの費用は有事対応で健全な範囲内で当方で負担・支援)等</li></ul>

	感染症発生・感染クラスター発生の際：運営担当者・実施企業への安全対策の批難
	参加・ゲスト・登壇者等に議員・官公庁所属者等の公人がいた場合、所属会派や選挙活動への影響や官公庁所属先での影響
	著名人の場合に感染発生等の場合に実名での報道・名誉棄損や人権侵害などを被るリスク
	主催者・後援者・共催者における責任問題等の発生・報道等による株価下落や収益下落等のリスク
	感染症発生・感染クラスター発生の際、参加者・濃厚接触者等の14日間程度の隔離措置(自主的隔離措置を含む)や、入院措置・重症化・最悪の場合は死亡等のリスク
	主催者・後援者・共催者や出演者・ゲスト・参加者・運営スタッフをはじめ会場のホテル・貸し会議室・開催会場に対する風評被害等と、それによる収益下落・全館閉鎖の上での消毒対応・業務継続上の各種支障等のリスク
	官民・産官学問わず開催時に感染症発生・感染クラスター発生の場合に、政争の具となる議論や責任問題の発生リスク
	リアルな会場に感染症対策を講じた上で集まってこそその開催メリットの再確認
	感染症対策を講じた上での経済低迷リスクへの打開策として開催する意義の確認
	3密回避のための換気： いわゆるはめ殺しの窓(窓が1枚ガラス等で開けられない設計)の場合の換気対策
	3密回避のための座席配置： 平時の会場規定の定員より実際に集客・着座する際の定員数の削減と開催における損益判断
	リアルな会場に集まっての開催とオンラインLIVE開催・動画視聴との併用の検討(リアルな会場での開催のみ・オンラインLIVE開催のみ・収録動画配信・リアル開催とオンラインLIVE開催の併用・リアル開催とオンラインLIVE開催と収録動画配信の3策併用といった検討)
	リアルな会場での開催の場合、感染者数の多い地域から招く出演者・来賓・講師等のみをリモート対応・オンラインLIVE中継でつなぐ策の検討(リアルな会場でノートPC等にオンライン中継をつなぎPCプロジェクトで映像出力・スピーカーまたはマイクを近づけ音声出力または音声を拾う形で、リアル開催の検討)
	開催予算の限りがある場合に、オンライン化して出演者・参加者の交通宿泊費等がそもそもかからなくて済む出演料だけでなく開催総額でのコストダウンの検討
	参加来場者・運営スタッフ・ゲスト等への感染症対策徹底の依頼文面等の作成
	感染症対策が十分か免罪符的に安易な対応ではないかのチェック などなど

**※必ずご自身で最新の情報・サイトでのチェックや自己責任でのご対応をお願い致します。**

※上記以外のCOVID-19対策や各種最新情報等につきましては、下記の弊社プレスリリース一覧ページをご参照下さい：<https://www.jmri.co.jp/information.html>

※以上のような主催者さまでの準備や対応が困難・予算的に厳しいなどの場合には、当方で出演者側・講師側として用意・支援も可能です。(例) <https://digitalpr.jp/r/40608>